

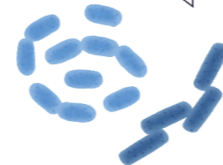
徳山医師会病院 患者数統計 本館180床 西館(療養型)126床

項目 / 年度	2019(令和元)年度	2020(令和2)年度	2021(令和3)年度	2022(令和4)年度	2023(令和5)年度 4月~9月	
在院患者延数	84,512人	78,354人	72,414人	72,862人	37,108人	
在院患者数 (1日平均)	本館	122.6人	116.3人	102.7人	102.2人	106.5人
	西館	96.3人	98.3人	95.7人	97.3人	96.3人
病床利用率 (年間%)	本館	68.1%	64.6%	57.0%	56.8%	59.2%
	西館	64.2%	65.5%	63.8%	64.9%	76.4%
平均在院日数(本館)	18.5日	17.8日	16.3日	20.8日	19.3日	
外来患者延数 (年間)	22,551人	15,018人	15,226人	13,108人	6,816人	
外来患者数 (1日平均)	56.5人	51.2人	51.8人	49.7人	55.8人	

栄養関連ニュース

	ビフィズス菌	乳酸菌
棲息場所	ヒトや動物の大腸内	土壌や食物、ヒトや動物の腸内
酸素に対する性質	酸素があると生育しづらい	酸素があっても生育できる
主な代謝産物	乳酸+酢酸	乳酸

乳酸菌とビフィズス菌の
違いについて



プレバイオティクス...オリゴ糖や食物繊維など ビフィズス菌や乳酸菌を活躍させてくれる
プロバイオティクス...ビフィズス菌や乳酸菌の多い食品(ヨーグルト、チーズ、漬物、乳酸菌飲料)

近年大注目のラクチュロースとは？

牛乳に含まれる乳糖を原料として作られたオリゴ糖(ミルクオリゴ糖)。胃や小腸で吸収されることなく、そのまま大腸に届く。

《基本理念》

地域医療支援病院 オープンシステム 徳山医師会病院は医道の昂揚、医学・医療の発達普及及び公衆衛生の向上、社会福祉の増進につとめます。

1. 人間としての尊厳を守り、良質で適切な医療・看護を目指します。
2. 全人的医療を目指し、十分な情報を提供し、信頼関係に基づいた医療を行います。
3. 病診連携を図り、一致協力し、地域社会の要請に応える医療を提供します。

《基本方針》

1. 安心安全の医療を推進します。
2. 患者さん本位の医療を推進します。
3. 地域に開かれた医療を展開します。



編集後記

2024年が始まり、また花粉の時期がやってきました。夏の気温が高かった為、今年の花粉は例年に比べて多いそうです。花粉症のある方は、家に帰ったら花粉を玄関で落とし、家の床をこまめに掃除したり、洗濯物を室内に干すなどの対策をされてはいかがでしょうか。



徳山医師会病院だより



2024年 第63号
発行元 地域医療支援病院
オープンシステム
徳山医師会病院
〒745-8510
周南市東山町6番28号
TEL 0834-31-2350
FAX 0834-31-1623
<http://www.tokuyamaishikai.com/>

第19回TQM発表大会を開催しました！

TQM(Total Quality Management)とは、全員・全体(Total)で、医療・サービスの質(Quality)を、継続的に向上させる(Management)のことで、当院では各部署ごとにテーマを決め、発表大会という形式で実施しております。コロナ禍で長らく規模を縮小しておりましたが、令和6年2月22日に4年ぶりに対面でのTQM発表大会を開催しました。今年度は口頭6サークル、ポスター5サークルが発表し、対面ならではの質疑応答も活発に行われました。今回の発表で「他部署の業務を知るきっかけになった」、「各部署での業務に活かせる内容に刺激を受けた」、「継続して取り組むことの重要性を感じた」など様々なご意見がありました。今後も良い取り組みができるよう、より広い視点も持って日々頑張ります。結果は以下の通りです。

【口頭発表】

- 1位 外来「クリアファイルケースを活用せよ！」
- 2位 放射線科「続・自動処理等を利用した業務の効率化」
- 同率2位 地域連携室「FAXの誤送信を防ごう」

【ポスター発表】

- 1位・オーディエンス賞 西4階「ベッド周囲の整理整頓」
- 2位 2階「無駄な動きをなくしたい」



当院では受診の際「開業医」の紹介が必要です。
当院での診察や検査をご希望の方は「かかりつけ医」若しくは「開業医」へご相談ください。

災害に備える防災用品を改めて考えよう！

2024年1月1日16時10分、石川県能登半島を襲ったマグニチュード7.6の地震、いわゆる令和6年能登半島地震は、家屋倒壊、火災、土砂崩れ、津波などによる死傷者が多数発生するなど、周辺地域に大きな損害をもたらしました。更に被災後の避難生活についても大きな問題となりました。改めて災害発生時の防災用品を見直しましょう。

以下に挙げたものは一例です。太字は特に重要な用品です。

- | | | |
|--|--|----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 飲料水 | <input type="checkbox"/> 電池・ラジオ・懐中電灯 | <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ |
| <input type="checkbox"/> 食料品(次ページ参照) | <input type="checkbox"/> モバイルバッテリー | <input type="checkbox"/> マスク・軍手 |
| <input type="checkbox"/> 貴重品(通帳・印鑑・保険証等) | <input type="checkbox"/> 笛などの音が鳴るもの | <input type="checkbox"/> 携帯用トイレ |
| <input type="checkbox"/> ディスポ食器(使い捨て食器) | <input type="checkbox"/> 救急用品(常備薬・お薬手帳・絆創膏等) | <input type="checkbox"/> カセットコンロ |
| <input type="checkbox"/> サランラップ | <input type="checkbox"/> 衣類・下着等 | <input type="checkbox"/> 毛布・タオル |
| | <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ | <input type="checkbox"/> 保温シート |
| | | <input type="checkbox"/> 底の厚い靴 |



お住まいの地域や家族構成によってはこれ以外にも必要なものを検討する必要があります。

防災の基本はまず「自助」、即ち自分自身や家族の命と財産を守るために、自分や家族が積極的に防災活動に取り組むことです。被災してからでは間に合いません。日常的に災害に対する備えや、災害時の対応を真剣に考えていくことが必要です。

～被災時の口腔ケアは重要です～

能登半島地震において、避難所生活の高齢者が歯磨きなどの口腔ケアが出来ず、細菌が肺に入っておきる「誤嚥性肺炎」でお亡くなりになるケースが多いとの報道がありました。地震による関連死の一つと言えます。上記の防災用品に加えて、「口腔ケア用品」を準備しておくことで、口腔内衛生の保持が可能となり、誤嚥性肺炎の予防ができるのではないかと思います。「口腔ケア用品」とは

- 歯ブラシ
- ガーゼ



- マウスウォッシュ・デンタルリンス
- 口腔ケア用ウェットティッシュ



などが挙げられます。水が十分に確保できないと思われるので、マウスウォッシュやデンタルリンスで歯ブラシを洗うのも一つの方法です。歯ブラシが無い場合は、ガーゼにマウスウォッシュやデンタルリンスを付けて拭うだけでも良いです。最近はドラッグストアに口腔ケア用のウェットティッシュもありますので、これも備えておくとも良いと思います。

＼食品の家庭備蓄を見直そう！

大きな災害が発生し、物流機能が停止した場合、スーパーマーケットやコンビニで食品が手に入りにくくなります。また、電気・水道・ガスなどが停止した場合、日常生活とはかけ離れた環境で生活しなければなりません。災害発生からライフライン復旧まで1週間以上要するケースが多く見られます。このため、最低**3日**

～**1週間×人数分**の食品の家庭備蓄が望ましいとされています。



熱源を確保しよう！

熱源を確保すれば、災害時の食の選択肢が大幅に広がります。カセットボンベの予備は**1週間当たり、1人6本**の備蓄が目安とされています。

(ただし、ボンベやコンロにも期限があるため要注意) さらに湯を沸かせるやかんなど必要なものを用意しておきましょう。

命をつなぎ止める水

水は生命の維持に欠かせないものであり、**1人当たり1日3リットル**が必要とされています。日常的に飲んだら買い足すように心がけましょう。また、水道水は塩素による消毒効果により、3日程度は飲料水として使用可能です。直射日光を避けて、室温の低い所に保存しましょう。